

平城西地区自主防災防犯委員会 第十二回～議事録～

日時:4月11日(土) 13時30分～15時30分

場所:中山町西三・四丁目集会所

1 令和8年度「指定避難所の開設及び運営の委任(受託)」について

今後、指定避難所の開設及び運営を受託する方向で進める。委員会の負担になることがないか等、受託内容の確認が必要なので、来年度の受託は一旦保留。受託内容は、平岡さんが確認予定。受託内容を確認し、問題なければ再来年は受託する。

・受託を進める理由

配置職員は危機管理課の職員ではなく、当て職に近い状態であることから、災害時に指定避難所の開設に駆け付けられるか疑問。本来、配置職員は自主防災防犯会の会議にも参加すべきとされているが、参加もない状態であれば、自主防災防犯会で完結するほうがよい。配置職員を入れなければ、約8万円入る。その資金を災害時の資材等購入に回せる。

2 会則について

第4条(事務所の所在地)の「平城西地区防災防犯情報センター」という言葉は使えないため外す。その他は委員会としては問題ないものとして、来月の総会にて会則の変更を提案予定。

3 次回について

来年度も基本は第二土曜の開催。

5月9日(土)は旧平城西幼稚園にて開催。

所在地を旧平城西幼稚園とすることから、基本的には会議の場所も旧平城西幼稚園とする。集まり慣れている方が、災害時にも良いため。

4 災害時の連絡手段 ハザードトークの購入検討

緊急時の連絡手段としてIP無線機ハザードトークの購入を検討したい。能登半島の際にも活躍したそう。1台約15万。防犯カメラ積立金が約80万円貯まっているので、これを使うことを総会にて提案してはどうか。

以前まで警察の防犯カメラの設置が間に合っていなかったため、防犯カメラ積立金で防犯カメラを購入していた。現在は、市が防犯カメラを増やしていることから、委員会で防犯カメラを購入する必要がなくなっている。また、委員会で設置している防犯カメラと警察が設置している防犯カメラの場所も重複している。そのた

め、連絡手段となるハザードトークの購入に充てるほうが良い。

月額経費(安くて月 1800 円)が必要なため、7 台をいきなり導入するのは厳しい。3 台の中での会話は無料であることから3台の購入を検討してはどうか。3 台をどこに保管しておくかについては、旧平城西幼稚園・届け出避難所申請予定所(3・4 丁目集会所と朝日町)?

購入する場合、防犯カメラ積立金をハザードトークの購入費に回す理由を丁寧に説明する必要がある。また、ハザードトークについてメーカーから説明を受けた方が良い。(市に尋ねても不明との回答だったため)

5 来年度の課題

・初動マニュアルと避難所レイアウトの作成

災害時に誰が避難所に来たとしても運営できるようにするため。

・各自治会で防災意識を少しずつでも浸透させていく

朝日町二丁目では、来年度への引継ぎとして自治会内での防災訓練の提案。届け出避難所についても検討を提案。

自治会だけの防災訓練等が厳しい場合は、他の自治会や女性防災などと共同で取り組むなどしてはどうか。

6 来年度の防災訓練について

奈良市の資機材の組み立て方や使い方の説明、倉庫に何があるのかなどを紹介したい。

平城西地区防災訓練だけでなく、各自治会でも防災訓練をするほうが良い。簡易トイレの設置場所の検討なども。

高齢化により防災訓練に参加できない方や訪問看護・訪問介護を受けている方に向けた自主避難訓練のパンフレット作成を中野さんが地域包括の方と考案中。

7 その他

・自主防災防犯会における「防災」とは

自主防災防犯委員会の「防犯」は、一般的な防犯ではなく防災時の防犯のこと。

次回 5 月 9 日(土)の委員会は、旧平城西幼稚園で、13:30~15:30